

9. 入学金・授業料・その他の費用

9.1 入学金・授業料等

(1) 学部

金沢工業大学の全ての学部（工学部、情報フロンティア学部、環境・建築学部、バイオ・化学部）の入学金および授業料は、共通で、授業料は1年次のみ異なり、2年次～4年次は同額です。入学金、授業料を表9-1に示しています。

表 9-1 平成 28 年度入学生の入学金および授業料

入学金	授業料	
200,000 円	1 年次(1 期、2 期) 授業料	1 学期あたり 671,500 円 年額 1,343,000 円
	2 年次、3 年次、4 年次 (3 期～8 期)授業料	1 学期あたり 757,500 円 年額 1,515,000 円

また、上記の入学金、授業料の他に次の費用が必要となります。

- ① 拯友会費(保護者会費) 12,000 円/年
- ② 学友会費(学生会費) 10,200 円/年
- ③ 同窓会費 7,500 円/年 ※会費は在学中に徴収となります。
- ④ 教科書費用 6,000～22,000 円/学期 ※学科によって異なりますが、目安として金額を表示してあります。なお、教科書は、学期ごとに購入する必要があります。
- ⑤ その他の教育用品 ※入学時に一度購入すればよいもので、毎年、必要になるものではありません。
 - (a) ノート型パソコン参考価格 ～143,100 円 ※本学が推奨するパソコンの場合です。
 - (b) 実験服・白衣など 3,910～9,690 円
 - (c) 体育実技用ユニフォーム 7,200 円
 - (d) 実験用保護メガネ 1,080 円
 - (e) 製図セット 14,768 円
(建築・建築デザイン学科のみ)

(2) 大学院

金沢工業大学大学院の入学金および授業料は、専攻により異なります。

① 工学研究科(知的創造システム専攻修士課程、高信頼ものづくり専攻博士前期課程1年制コース、ビジネスアーキテクト専攻修士課程1年制コースは除く)、心理科学研究科

入学金ならびに授業料を表9-2に示します。本学の学部を卒業した者及び大学院の修士課程・博士前期課程を修了した者の入学金は全額免除されます。

表9-2 平成28年度入学生の入学金および授業料

入学金		授業料		
250,000円		博士前期(修士)課程	1学期あたり	年額
			505,500円	1,011,000円
		博士後期課程	1学期あたり	年額
			522,000円	1,044,000円

上記の納入金以外に、次の費用が必要となります。

(1) 拯友会費(保護者会費) 12,000円/年

② 知的創造システム専攻修士課程、高信頼ものづくり専攻博士前期課程1年制コース、ビジネスアーキテクト専攻修士課程1年制コース、イノベーションマネジメント研究科修士課程

入学金ならびに授業料を表9-3に示します。本学の学部を卒業した者及び大学院の修士課程・博士前期課程を修了した者の入学金は全額免除されます。

表9-3 平成28年度入学生の入学金および授業料

入学金	基礎授業料		
60,000円	1学期あたり		年額
	100,000円		200,000円
	単位授業料		
	30単位までの履修		60,000円/1単位
	30単位を超える履修	専修科目	60,000円/1単位
		専修科目以外	30,000円/1単位

9.2 学部生対象の特別奨学金

金沢工業大学では、学部生に対して独自の特別奨学金(特別奨学生)制度を運用しています。毎年、入学定員の約8%(115名)を対象に、①年額250,000円給付、もしくは、②国立大学の授業との差額(1年次は725,200円、2年以降は979,200円)を給付するものです。平成28年度は、115名の定員に対して121名の学生に特別奨学金を給付しました。なお、この制度は、4.4節にも記載があります。

特別奨学金の詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/nyusi/honor01.html> で紹介しています。

9.3 大学院生対象の修学奨励金

大学院における修学および研究活動を支援するため、独自の修学奨励金制度を設けています。表9-4に奨励金の種類及び給付対象者、表9-5に平成27年度の給付状況を示します。

修学奨励金の詳細は、http://www.kanazawa-it.ac.jp/campus_html/pdf/c2016/p016-p017.pdf で紹介しています。

表 9-4 修学奨励金の種類及び給付対象者

第1種	金沢工業大学の学部の卒業に引き続き博士前期課程(修士課程)への入学を強く希望する者であって、入学後の経済的な支援を必要とする者
第2種	修士課程に在籍する1年次生であって、経済的な支援を必要とする者
第3種	修士課程に在籍する学生であって、各専攻が認める学協会等において研究成果が評価された者
第4種	修士課程に在籍する学生であって、各専攻が定める学協会等において研究発表を行うために要する旅費を必要とする者
第5種	修士課程に在籍する学生であって、不測の事情により経済的な支援を急ぎ必要とする者

表 9-5 修学奨励金の給付状況

年度	第1種		第2種		第3種		第4種		第5種		合計金額 (円)
	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	
H27	49,250,000	197	5,000,000	20	3,960,000	48	3,510,500	125	0	0	61,720,500

9.4 学内勤務制度 (学内インターンシップ制度)

金沢工業大学では、学習支援センターの運営を補助する学生スタッフや、SA・TAとして教員の教育を補助する学生スタッフなど、学生がキャンパス内で勤務する学内勤務制度を運用しています。平成27年度は、1,318名がこの制度に参加しました。この人数は、在学生の5人に1人に相当し、勤務している学生は、キャンパスの環境をより良いものにするため積極的に運営に携わり、収入を得るばかりでなく総合力養成の場にもなっています。

従来は、学生を雇用する部署ごとにOJT形式で行っていた業務指導を、業務内容に合わせた研修制度と勤務評価システムとして確立させ、単なるアルバイトではなく「学内インターンシップ制度」として学生の就業力向上を図っています。なお、時給は、平日800円、日曜・祝日は880円となっています。

学内勤務制度の詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/campuslife/intern.html> で紹介しています。

① 学生ステーション学生スタッフ



業務は、学生ステーションにて学生からの学生生活に関する相談対応や、学生向けイベント企画・運営を行い、学生が学生を応援することに取り組んでいます。その他、スタジオ設備の管理と利用案内、23号館の閉館業務、事務業務も行なっています。

② レファレンスカウンタースタッフ (ライブラリーセンター)



業務は、ライブラリーセンターのレファレンスカウンターの受付や図書の貸出し、返却手続き、図書の整理・整頓などで、特に女子学生に人気の勤務先となっています。

③ 夢考房スタッフ



「イエロージャンパー」の愛称で呼ばれ、工具や各種の設備機器の管理、整備、整理・整頓をはじめ、機器の貸出しや使い方の説明等を業務とします。また、安全管理や施設管理も担い、60時間の研修期間を終了すると「安全管理者代行」の辞令が交付されます。

④ マルチメディア考房スタッフ



ライブラリーセンターの中にあるデジタル・クリエイティブ活動の拠点で、一般利用学生の受付け業務、マルチメディア考房の運営・管理や機器の取り扱い方法等のアドバイスも行います。また、設備や消耗品のメンテナンスも重要な仕事となっています。

⑤ 施設スタッフ



主にキャンパスの施設・設備を管理・保全するセクションで、業務は、駐輪場・駐車場の整理やキャンパスの美化の推進です。イベント時には、警備や誘導の業務も担います。

⑥ PMC（ポピュラー・ミュージック・コレクション）スタッフ



LPレコードを22万枚所蔵する施設で、一般利用学生へのレコードの貸出しや、検索のアドバイス、レコードの保管や管理などを担います。趣味と実益を兼ねた学生から人気の勤務先となっています。

⑦ 学生コミュニティセンター学生スタッフ



学生による学生のための相談コーナーで、履修科目やひとり暮らしの悩み、学内や学外施設の案内や説明、落し物に至るまで、親身になって相談に応じます。

⑧ 庶務課学生スタッフ



キャンパス内の資料配達のほか、データの整理や入力などの大学の事務業務の補助を行います。また、入学式や卒業式、拯友会（保護者会）などの行事にも、スタッフとして参加します。

⑨ キャンパス学内スタッフ



金沢工業大学を訪れる高校生や保護者などに、キャンパス内の施設を紹介する見学案内スタッフです。特に来訪者の多い、土曜、日曜、祝日や夏期休業中の業務が多い勤務先です。

⑩ 数理工教育研究センタースタッフ



数学能力検定の1級、2級の獲得を目指す数検チャレンジプロジェクトの実施、数学や物理、化学等の授業や特別講座の支援、教材開発、各種数学や理科科目のイベントの企画・運営、ホームページの作成などの業務を行います。

⑪ 自己開発センタースタッフ



各種資格試験や対策講座の受付やデータ入力・整理、講義DVDの作成などが主な業務です。学内で実施される試験では試験監督業務もあります。また対策講座では、使用資料の作成や受講生からの質問への回答、模擬試験の作成・実施等が業務となっています。

⑫ eラーニング教材開発スタッフ（情報基礎教育研究センター）



eラーニング教材を開発しています。

担当教員が考えた原稿をもとに、Flashや画像編集、音声編集、ビデオ編集などのオーサリングソフトウェアを用い、コンテンツ開発を行う業務です。

⑬ AV室スタッフ



ライブラリとしての、ビデオ撮影ならびに編集補助が主な業務です。また、学内イベントのサポートとして、機材の運搬やコンテンツ管理も行っています。

⑭ スポーツ考房スタッフ



受付ならびに利用者へのトレーニング、ストレッチ等の指導が主な業務です。講習会の補助なども行っています。

⑮ 留学支援課スタッフ

受付ならびに留学生の受入や、本学学生の海外留学に関する業務を行っています。

⑯ 教育補助員(SA・TA)



学部生を対象としたSA(Student Assistant)は、授業科目における小テスト採点補助業務・配布資料の作成・レポート等の資料整理を業務とし、大学院生を対象としたTA(Teaching Assistant)は演習・実験などの授業科目で、教員のアシスタントを務めます。

SA、TAとも、「教え、共に学ぶ」立場で、自己の能力の開発と向上を目指します。なお、給与については、1時間あたり、SAは800円、TAは1,000円です。

9.5 寮・下宿

金沢工業大学は、直営する寮は有していませんが、本学の学生だけを受け入れてくれる寮・下宿を「KIT 指定寮」として学生に斡旋しており、キャンパス内に寮・下宿に関する相談所を設けています。KIT 指定寮は、住居者が本学の学生に限定していることに加えて、大家さんが近くに住まいをしていることから、学生の生活支援が可能となっており、本学では地域の教育力の一つとしてKIT 指定寮を位置付けています。学生が住む部屋のタイプと家賃について図 9-1、表 9-6 に示します。



寮・下宿相談の詳細は、

<http://www.kit-group.jp/dormitory.html> で紹介しています。

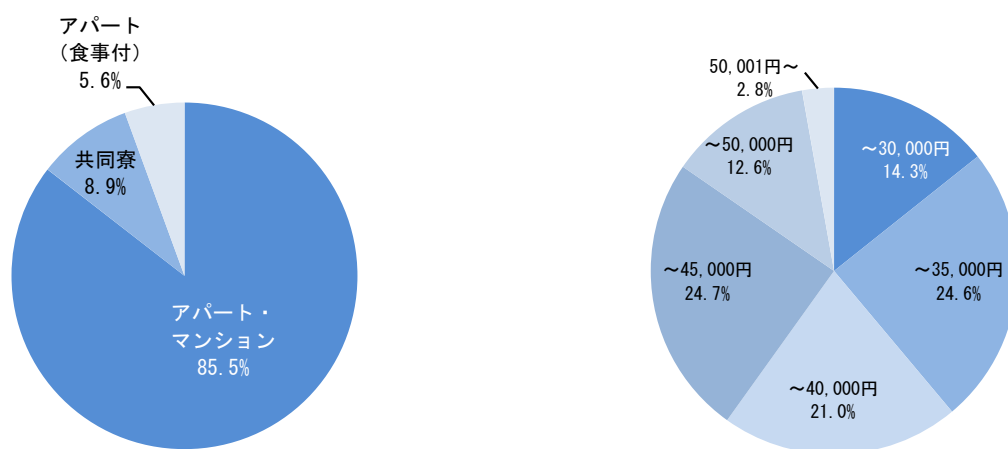


図 9-1 寮・下宿の内訳

表 9-6 家賃相場

部屋のタイプ	広さ	形態	価格
アパート・マンション	6~13帖	バス・トイレ・台所・冷暖房付き	20,000円~73,000円
アパート (夕食付)	6~10帖	バス・トイレ・台所・冷暖房付き	29,000円~66,000円 (食費: 16,000円~21,000円)
共同寮 (夕食付)	4.5帖~9帖	バス・トイレ・台所共同	16,000円~21,000円 (食費: 12,000円~17,000円)
共同寮 (朝・夕食付)			16,000円~21,000円 (食費: 24,000円~25,000円)